



浜っ子

2026年1月号 (2025.12.28.発行)

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL 072-261-1563
FAX 072-261-1594

主の御誕誕と新年のお慶びを申し上げます

心穏やかにお正月をお迎えでしょうか？世界に平和がもたらされますように。災害のない毎日でありますように。物価が落ち着きますように。私に出来ることは何かしら…？今年もよろしくお願ひします。インフルエンザが猛威を振るっています。手洗い・うがいを忘れずに。しっかりと栄養も取ってください。咳症状のある方はマスクをご使用ください。感染対策へのご協力、ありがとうございます。

あたら とし みみ かたむ つか かみ あゆ
新しい年：耳を傾け、仕え、そして神とともに歩む
し さ い
ブロック司祭チーム 村田 稔 神父

しん ぶ
ジュアン ロムアルドウス神父

あたら とし むか
新しい年を迎えるにあたり、多くの人が決意について考えます。
わたし しんこう もっと たいせつ けつい じぶん なに
けれども私たちの信仰は、最も大切な「決意」とは、自分が何をするかではなく、神が私たちの
じんせい なに
人生に何をしてくださることを思い起こさせます。
ひつじか さが もと たんじょう よ し う と
羊飼いたちが探し求めることなく、キリストの誕生の良い知らせを受け取ったように、神もまた
わたし ひ び しごと かていせいかつ なか めぐ
私たちの日々の仕事や家庭生活の中で恵みをもって驚かせてください。

いちねん かみ まね こころ ひら みみ かたむ つか かみ ひら とびら ゆうき あゆ
この一年、神の招きに心を開き、耳を傾け、仕え、神が開いてくださる扉から勇気をもって歩んで
らいねん しんねん ひ ふ かえ かみ わたし とお な と おどろ
いきましょう。そうすれば来年の新年の日に振り返って、「神が私を通して成し遂げてくださった驚く
べきことを見よ！」と喜びのうちに言うことができるでしょう。
めぐ み わん
恵みに満ちた2026年となりますように。



< ありがとうございます >

ベトナムの青年たちより
馬小屋の人形一式の
寄贈が有りました。
ベトナムから、手荷物扱いで、
飛行機で大事に運ばれてきました。



青年たちが、休日を利用して、
交代で作業に参加してください
今年も素晴らしい馬小屋が 完成しております。





<ブロック合同 待降節默想会 11/30 岸和田教会にて>

午前11時より、クラレチアン会の○崎○神父様(今市教会主任)を講師にお招きして、ブロックの待降節黙想会が開かれました。



〈午前の講話〉 テーマ:巡礼

聖フランシスコ・ザビエルの「キリスト者の人生は、神の身元に行く巡礼である」との言葉にもあるように、世間一般で空海僧と同行二人で四国八十八か所を巡るお遍路がよく知られているが、我々にとっては、いつも共にいると約束して下さったイエスと共に歩んでいく人生そのものが巡礼である。

世界各地への巡礼ツアーで出される豪華な夕食に疑問を呈された方がおられたが、人生という巡礼の旅の折には、幾多の苦労を伴うことが多く、しかしそれこそが巡礼の本来の姿である。アブラハム、モーセ、東方の3博士、聖パウロ、また聖マリアによって示されるように、旅の中に人生を見出し、物事の新たな見方に気付き、自分自身の靈性をより豊かに変えられていく。そこには様々なルートがあり、発見すべきこと、場所がある。旅の中で被造物を観想し、被造物への配慮が神への信仰を表現することだと悟る。また、巡礼は回心の経験であり、自分の存在を神の聖性に適合させるために“変容”させる経験でもある。

〈午後の講話〉 テーマ:希望

希望は、巡礼の旅における一番大切な持ち物である。希望は神から頂いたものであり、どのような苦しみの中にもあっても、神の我々に対する愛はそれに勝るものであり、困難の渦中でさえも希望を見出せるかが、キリスト者のキリスト者たる所以、アイデンティティである。

人間が根本的に変えられるのは、徵税人レビや罪の女の例にもあるように、赦してもらえたという体験によってであり、私たちは神から信頼されている、そして物事を識別する自由を与えられた存在であって、その我々に与えられた神の愛がいかなる苦しみにも勝るものであるのだと知ることが、聖年にあたって重要である。

そして、神のみ言葉は決して反故にされない、預言者を通して語られたことは必ず実現するのだという確信を持つことが大切である。つまり、神の約束に信頼を置くことが、希望の源となる。

帰省の折には土産物を持参するように、眞のふるさとである神の身元に帰る時に私たちが持参する土産物は、頂いた生命をどのように使ったか、神への愛、人々への愛のために人生を捧げたかということである。生涯をかけての巡礼の最終目標は、旅の終わりに私たちが“幸せな人”と神から祝福を受けて、神の身元で永遠の生命に入ることである。

《 ※当日の講話が収録されたCDが届いていますので、お申し出ください。 》

<ベトナム語 待降節黙想会 11/30 15時～ 浜寺教会にて>

浜寺教会に集うベトナム人信徒は増加しています。その彼らが待ち望んでいた、ベトナム語ミサは3時から始まりました。このミサにあわせて練習してきたベトナム語聖歌には、リズム感があり、祈りと歌が綾織りのように御堂にあふれました。

敏神父さまは、ベトナム語のあい間に、日本語の話と祈りをいれてくださいました。ミサの時間が午後であつたこともあり、日本人信徒の参加はごく少數でした。イエスさまの教えが、人種、国籍を超えて、ここにど届いていることを実感することのできる司式でした。

ミサのあと、信徒会館で手作り料理の持ち寄りの集いが、敏神父さまの開会の祈り、乾杯で始まり、ベトナム信徒が心をこめて作ってきた美味を堪能しました。今日のミサに初めて来られたシスター・トウイさんは、集いに感謝して、歌を披露してくださいました。

集いの後半には、今日、誕生日を迎えた男の子の誕生日がおこなわれました。

敏神父さまは、用意のサンタの帽子を被り、子どもたちにお祝いのお菓子をプレゼント。子どもたちの、うれしそうな笑顔と喜びの声があふれていました。

今日のミサと集いは、遠くベトナムを離れて日本に来ているベトナム青年たちへの最高の贈り物となりました。敏神父さまが帰られるころには、外は暗くなりかけていました。神父さまが仁川教会に帰られるには1時間半ほどの走行です。私たちは次のベトナム語ミサの日を心に描きながら、敏神父さまをお見送りました。そのころには、ベトナム人信徒の青年たちが設置してくれたクリスマスの馬小屋の光りが、夕暮れの教会に輝いていました。(文責 共生委員会 A.K.)



<<第16回クリスマスコンサート 12/21(日)13:30～>>

冷たい雨の中 87名ものお客様をお迎えし、無事にコンサートが開催出来ましたこと、心より感謝いたします。準備から後片付けまで、たくさんのご協力ありがとうございました。ゆっくりと反省会をしなくてはいけないのですが…。来月の評議会にて振り返りを行います。それまでに、気づかれたことがございましたら、忘れないうちに、宣教委員・三役までお伝えください。紙面の都合上、詳しくは次号で掲載いたします。



※成人の祈り…1月4日(日)ミサの中で、成人式を迎える若者たちのために一緒に祈りましょう
今年度の新成人は、○木○輔さん、○涼○郎さんです。

※新年会…1月11日(日) ミサ後、信徒会館で行います。たくさんのご参加をお待ちしております。

1月主日ミサ担当一覧	浜 寺 9:30	和 泉 9:30	岸和田 9:30
1日(木・祝) 神の母聖マリア	村 田	ザベリオ会	アンザネロ・トレス
4日 主の公現	村 田	トレス 村 田(評議会)	アンザネロ
11日 主の洗礼	アンザネロ 11時ボ語 イッポリト	村 田	ジュアン(評議会)
18日 年間第2主日	ジュアン(評議会)	村 田 11時 村 田(英語)	アンザネロ・トレス
25日 年間第3主日	アンザネロ・トレス	ジュアン	村 田 11時 村 田(英語)

◇主日前晩のミサ … 和泉 19:30(今月は 24日)

◇平日のミサ … 浜 寺 : 火曜日(毎週) … 9:00

金曜日(毎月第1)…9:30

和泉 : 金曜日(毎月第1)…9:30

岸和田 : 木曜日(毎週)… 9:00

◇ポルトガル語ミサ… 毎月第2日曜日…11:00(浜寺)

◇英語ミサ … (和泉)毎月第3日曜日…11:00

(岸和田)毎月第4日曜日…11:00

◇聖書の分かち合い … 火曜日ミサ後(浜寺)…ジュアン司祭 (今月は、13日・27日)

You Tube にて、カトリック岸和田教会の主日のミサが、9:30より配信されています。
 「カトリック岸和田教会」で、検索ください。時間をおいても、ご覧になれます。
 ご自宅で、靈的聖体拝領としてご参加・お祈りください。

1月の 受付+お茶当番/掃除割り当て/共同祈願 (ご協力ください)

	聖 堂	トイレ	信徒会館	共同祈願	受付+お茶当番
1日					
4日	堺	泉大津	ベトナム	広 報	堺
11日				財 務	高 石
18日	高石	ベトナム		社会活動	泉大津
25日	泉大津	堺		庶 務	堺

←11日 新年会

※祭壇の花活けの奉仕者を募っています。

現在、お一人でがんばって下さっています。

1回/月でもかまいません。ご協力ください！

三役までお声掛け
ください

※ 葬儀のお手伝いをしてくださる方の、グループ LINE を作る予定です。ご登録をお願いします。

○訃報の連絡が入ったら、先ずこのラインで流します。

直ぐに駆けつけて、信徒会館や畳の部屋に掃除機をかけたり、簡易畳を敷いて、お迎えの準備を致します。

必要時、エマオから布団を運びます。

○その時の状況で、来れる方は、LINE に「行きます」を入れて、教会へきてください。

これまで、数名の同じメンバーが上記のお迎えまでの準備をしておりました。

お手伝いしてくださる方を、幅広く増やしておきたいと考えています。

○ご遺体搬入後、細かい時間が決まったら、三役へ連絡網の手配をしてもらいます。

お通夜・葬儀ミサなどの準備は、典礼委員を中心に行います。